

## 第 5 章 計画段階環境配慮書における調査、予測 及び評価の結果



## 第5章 計画段階環境配慮書における調査、予測及び評価の結果

計画段階配慮事項に関する調査、予測及び評価の手法は、概ねのルート上の位置や基本的な道路構造等を検討する段階における、事業計画の熟度や検討スケールに応じた環境配慮を適切に実施できる手法としました。調査は、事業実施想定区域が含まれるエリア全体を広域的に調査できる既存資料に基づき、計画段階における環境配慮が必要な対象である検討対象(大気質や騒音では市街地・集落、動物であれば重要な種の生息地など)の位置・分布を把握し、図 5-1 に調査課題として示します。また、予測は、「路線位置」や「計画交通量」が決まっていないため、環境の状況の変化を把握する方法とし、評価は環境影響の程度を整理する方法としました。

調査、予測及び評価の手法は表 5-1 に示します。

表 5-1 計画段階配慮事項に関する調査、予測及び評価の手法

項目		影響要因の区分	検討対象	手法		
環境要素の区分				調査の手法	予測の手法	評価の手法
大気環境	大気質	自動車の走行	市街地 <sup>注1)</sup>	既存資料	市街地と事業実施想定区域の位置関係を整理する。	回避又は通過の状況を整理
	騒音	自動車の走行				
動物		道路の存在	重要な種の生息地等 ・重要な動物種 <sup>注2)</sup> ・鳥獣保護区 <sup>注3)</sup>	既存資料	重要な種及び注目すべき生息地となっている場所と事業実施想定区域の位置関係を整理する。	回避又は通過の状況を整理
植物		道路の存在	重要な種・群落の生育地等 ・重要な植物群落 <sup>注4)</sup> ・巨樹巨木林 <sup>注5)</sup>	既存資料	重要な種及び群落の生育地となっている場所と事業実施想定区域の位置関係を整理する。	回避又は通過の状況を整理
生態系		道路の存在	生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境 ・重要湿地 <sup>注6)</sup> ・自然環境保全地域 <sup>注7)</sup> ・特別緑地保全地区 <sup>注8)</sup>	既存資料	生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境の場所と事業実施想定区域の位置関係を整理する。	回避又は通過の状況を整理
景観		道路の存在	主要な景観資源等 ・主要な眺望点と眺望景観、主要な景観資源 <sup>注9)</sup>	既存資料	主要な眺望点と眺望景観、主要な景観資源となっている場所と事業実施想定区域の位置関係を整理する。	回避又は通過の状況を整理

注1) 集落・市街地の既存資料：「国土数値情報（DID人口集中地区データ）」（国土交通省ホームページ）

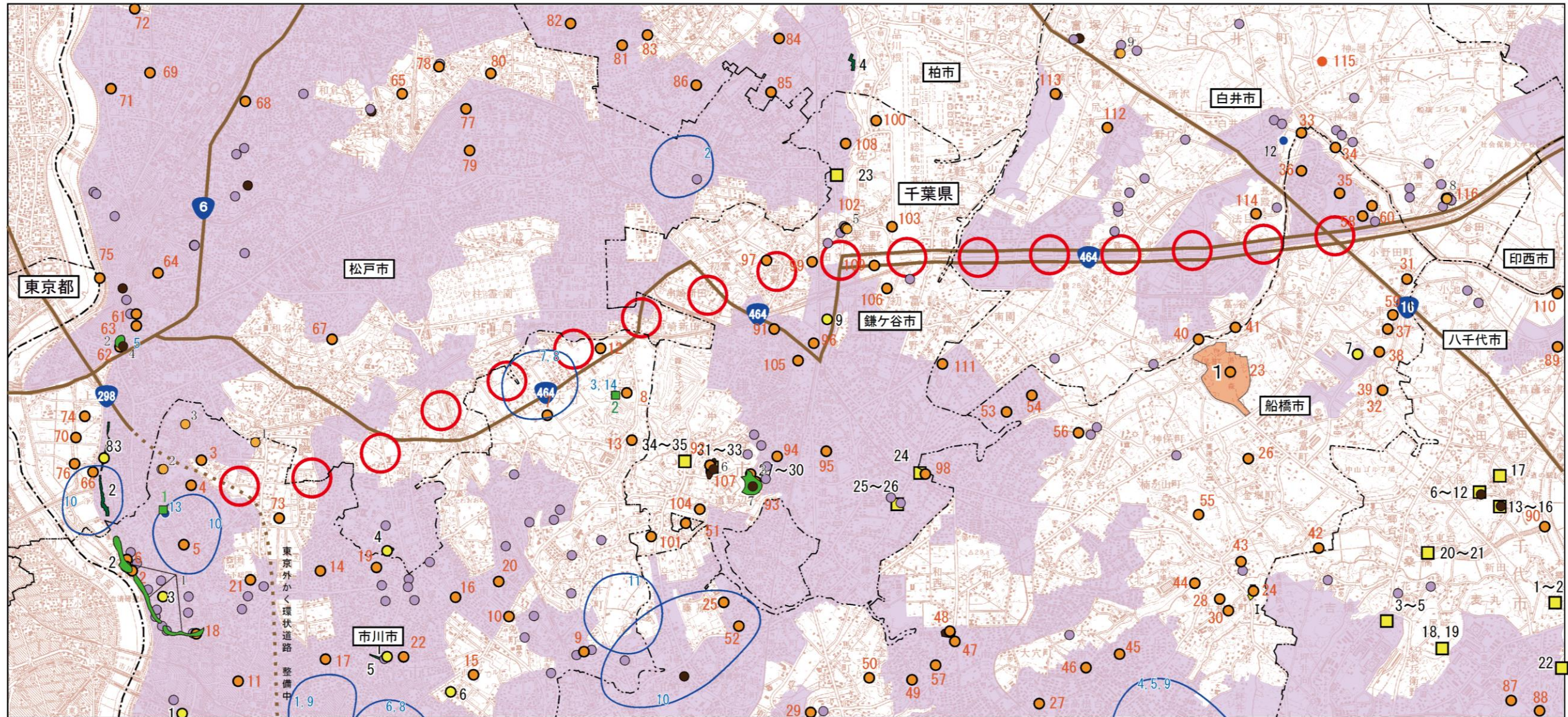
注2) 重要な動物種の既存資料：「第1回自然環境保全基礎調査 すぐれた自然図（千葉県）」（環境庁、昭和51年）、「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図（千葉県）」（環境庁自然環境局、昭和56年）、「生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）」（環境省自然環境局、平成29年7月閲覧）、「市川市の文化財」（市川市教育委員会生涯学習部、平成29年7月閲覧）

注3) 鳥獣保護区の既存資料：「平成28年度 千葉県鳥獣保護区等位置図（北部地区）」（平成28年11月、千葉県環境生

活部自然保護課)

- 注4) 重要な植物群落の既存資料：「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図（千葉県）」（環境庁自然環境局、昭和56年）、「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図（千葉県）」（環境庁自然環境局、平成元年）、「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（環境庁自然環境局、平成12年）
- 注5) 巨樹・巨木林の既存資料：「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査（GISデータ）」（環境省自然環境局生物多様性センター 平成29年7月閲覧）、「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（環境庁自然環境局 平成12年3月）、「第6回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査（GISデータ）」（環境省自然環境局生物多様性センター 平成29年7月閲覧）、「全国巨樹・巨木林巨樹データベース」（奥多摩町森林館 平成29年4月29日現在）、「市川市の文化財」（市川市教育委員会生涯学習部 平成29年7月閲覧）、「松戸市文化財マップ」（松戸市役所 平成29年7月閲覧）、「鎌ヶ谷市の文化財」（鎌ヶ谷市文化・スポーツ課文化係 平成29年7月閲覧）、「白井市の歴史・文化財」（白井市教育委員会文化課 平成29年7月閲覧）
- 注6) 重要湿地の既存資料：「生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）」（環境省自然環境局、平成29年7月閲覧）
- 注7) 自然環境保全地域の既存資料：「自然環境保全地域の指定状況」（平成28年9月15日更新 千葉県ホームページ）
- 注8) 特別緑地保全地区の既存資料：「特別緑地保全地区」（更新日：平成29年6月27日、千葉県ホームページ）、「市川都市計画図」（平成24年9月 市川市）、「松戸都市計画図」（平成29年3月 松戸市）、「柏市都市計画図1」（平成29年4月 柏市）
- 注9) 主要な眺望点と眺望景観、景観資源の既存資料：「千葉県良好な景観の形成に関する基本方針」（千葉県ホームページ）
- 「千葉県自然環境保全条例」（千葉県ホームページ）、「市川市景観基本計画」（市川市ホームページ）、「いちかわ景観100選」（市川市街づくり部まち並み景観整備課）、「市川さんぽ」（株式会社交通新聞社・市川市観光協会）、「船橋市景観計画」（船橋市ホームページ）、「船橋市自然散策マップ」（船橋市環境部環境政策課）、「ふなばしおさんぽまっぷ（北エリア）」（船橋市観光協会ホームページ）、「市民の森」（船橋市ホームページ）、「松戸市景観計画」（松戸市ホームページ）、「水とみどりと歴史の回廊マップ」（松戸市ホームページ）、「柏市景観資源ガイドマップ」（柏市都市計画部都市計画課）、「KASHIWA TOURIST MAP」（柏市役所商工振興課・柏市観光協会）、「やちよ良いとこマップ・農産物販売施設等紹介マップ」（八千代市ホームページ）、「鎌ヶ谷市景観計画」（鎌ヶ谷市ホームページ）、「鎌ヶ谷市ホームページ」（鎌ヶ谷市）、「ふるさとかがや散策まっぷ」（鎌ヶ谷市ホームページ）、「印西市景観まちづくり基本計画」（印西市ホームページ）、「印西市まっぷる」（印西市経済政策課）、「しろい文化財散策マップ 2訂版」（白井市・白井市教育委員会）





凡例

記号	名称
○ ○ ○	事業実施想定区域
-----	都県界
-----	市区界

人口集中地区 (DID)

- ○ 重要な動植物、注目すべき生息地
- 注目すべき群落等 (特定植物群落)
- 注目すべき群落等 (記念物)
- 注目すべき群落等 (巨樹巨木林)
- 重要湿地
- 特別緑地保全地区
- 鳥獣保護区
- 保存樹木
- 自然環境保全地域

- : 主要な眺望点と眺望景観
- : 主要な景観資源

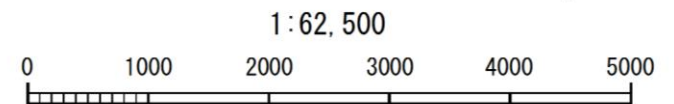


図 5-1 計画段階配慮事項の調査結果



計画段階配慮事項に係る予測及び評価の結果は、表 5-2 に示します。

植物、生態系に対して、影響を与える可能性は小さいと評価しました。大気質、騒音、動物及び景観に対して、影響を与える可能性があるとして評価しました。具体的な道路構造を決定する段階では、できる限り周辺の住居等の保全対象や重要な動物、植物等の生息地及び生育地、生態系の保全上重要であって、まとまって存在する自然環境を配慮して計画します。

なお、各検討対象について、回避が困難又は必ずしも十分に低減されないおそれのある場合には、今後の環境影響評価の中で調査、予測及び評価を行い、必要に応じて適切な環境保全措置を検討します。

表 5-2 計画段階配慮事項に係る予測及び評価の結果

計画段階 配慮事項	予測及び評価の結果
大気質 騒音	<ul style="list-style-type: none"> <li>市川市～鎌ヶ谷市間、鎌ヶ谷市～船橋市間のいずれの区間ルートも、一部が市街地を通過します。このため、大気質・騒音に影響を与える可能性があるとして評価します。</li> </ul>
動物	<ul style="list-style-type: none"> <li>市川市～鎌ヶ谷市間のルートは、タガメやゲンジボタルの一部の生息地を通過すると予測します。このため、動物に影響を与える可能性があるとして評価します。</li> <li>鎌ヶ谷市～船橋市間のルートは、既に整備済みの一般部の内側に専用部を整備する計画であり、重要な種の生息地等の改変は生じません。このため、動物に影響を与える可能性は小さいものと評価します。</li> </ul>
植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>市川市～鎌ヶ谷市間のルートは、重要な種の生育地等を回避していると予測します。このため、植物に影響を与える可能性は小さいものと評価します。</li> <li>鎌ヶ谷市～船橋市間のルートは、既に整備済みの一般部の内側に専用部を整備する計画であり、重要な種・群落の生育地等の改変は生じません。このため、植物に影響を与える可能性は小さいものと評価します。</li> </ul>
生態系	<ul style="list-style-type: none"> <li>市川市～鎌ヶ谷市間のルートは、まとまって存在する自然環境を回避していると予測します。このため、生態系に影響を与える可能性は小さいものと評価します。</li> <li>鎌ヶ谷市～船橋市間のルートは、既に整備済みの一般部の内側に専用部を整備する計画であり、まとまって存在する自然環境の改変は生じません。このため、生態系に影響を与える可能性は小さいものと評価します。</li> </ul>
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>市川市～鎌ヶ谷市間のルートは、主要な景観資源の大町周辺の森を通過すると予測します。このため、景観に影響を与える可能性があるとして評価します。</li> <li>鎌ヶ谷市～船橋市間のルートは、既に整備済みの一般部の内側に専用部を整備する計画であり、主要な景観資源等の改変は生じません。このため、景観に影響を与える可能性は小さいものと評価します。</li> </ul>